



第28回 個性づくりテーマ展示

わが子の能力を 伸ばそう ～早期教育について～

生まれたばかりの赤ちゃんの可能性は無限大！！
わが子の能力に気づき、才能を伸ばしてあげられるのは、
いつも一緒に暮らしている家族の方々です。
赤ちゃんと一緒に楽しい時間を過ごしながら、
わが子の能力を伸ばしていけるとステキですね・・・
さあ、早期教育について考えてみましょう。

展示期間 2015年12月26日(土)～2月25日(木)
展示場所 鷺宮図書館 5階個性展示コーナー

中野区立鷺宮図書館

中野区鷺宮3-22-5 Tel 03-3337-1044

早期教育とは

近年の少子化・若者雇用状況の変化に伴い、子育て世代の教育への関心はますます高くなるばかりです。またそれに加え、脳科学研究の進歩に伴い、乳幼児の脳の発達について書かれている書籍も多く出版され、早期教育・幼児教育への注目度は日増しに高まっています。

では、そもそも早期教育とは何でしょうか。「ブリタニカ国際大百科事典」では、
「知的能力、音楽、美術など就学齢以前の乳幼児を対象とする教育。日本では、1917年に木村久一が『早教育と天才』を著したが、おおむね批判的であった。しかし第2次世界大戦後、鈴木慎一がバイオリンの早期教育で画期的な運動を展開、多数の名バイオリニストを育て、「鈴木メソッド」として世界的に有名になった。また、ソニーの創立者、井深大が69年に(財)幼児開発協会を設立して胎児や新生児の持つ高い潜在能力に注目、その著『幼稚園では遅すぎる』は世界的な反響を呼んだ。いずれも素質ある幼児ではなく普通児を対象としており、大脳を刺激することによってどんな幼児からでも才能を引き出せるという点で共通している。」と、説明されています。

ことばの分野

喃語が出始めた6ヶ月頃は声を出す事で母語の発音を練習していると言われています。意味の無いと思われる単語でも、同じように真似をして、返事を返してあげましょう。子どもが穏やかな状態の時に、ゆったりと子どもの気持ちを代弁するように語りかけ、子どものことばを育ててあげましょう。間違っただけのことばを発しても、笑ったりせず、子どもが話したいことばを想像しながら繰り返し応じることで、コミュニケーションを学びます。大好きな人とちょっと会話をするだけで、知能が飛躍的に伸びると言われています。また、おひざの上に子どもを抱いて、毎日、絵本を読み聞かせる事で文字にも興味を持ち始めるでしょう。良い絵本はことばを覚えるだけでなく、豊かな想像力を育みます。

算数・科学の分野

幼児期になると、子どもは自然に数に興味を持ち始め、数を数える事を遊びの中で楽しむようになります。普段の生活の中で、数に対する経験を数多く重ねる事で数的な感覚は自然に育まれていきます。また、積木やブロックなどの知育玩具で遊ぶことによって、立体感覚を手で触れたり目で見たりすることで養われていきます。自然科学の分野においては、外遊びの機会に草や花の成長、落ちている石の違い、季節による日照時間や日光の強さ、気温など日々の体験の中で学んでいます。幼児用のドリルやワークなども、数多く市販されています。鉛筆が持てるようになったら、そうしたテキストを利用するのも一つの方法ですが、生活の中でのたくさんの体験を重ねることで、そうしたテキストにも興味を示し、楽しんで取り組める事でしょう。

運動の分野

水泳においては、月齢 6 か月ほどの赤ちゃんのうちから始めるベビースイミング、体操においては歩き始めた頃より始める体操教室などがあります。ベビースイミングは、水への抵抗感が無いうちから楽しく泳ぎを覚え始められるでしょう。体操教室においては、音楽に合わせて身体を動かすリトミック、本格的なマット運動・鉄棒・跳び箱などを教えてくれる体操教室などがあります。そうしたお教室ではお友達と一緒に身体を動かす楽しさを体験し、また身体のバランス感覚を養うのに良いでしょう。もちろん普段の生活の中で、公園の遊具を使い、積極的に外で遊ぶ事によっても、そうした身体能力は育まれる事でしょう

音楽の分野

幼児期は音とリズムにとっても敏感に反応します。絶対音感を身につけるにはこの時期からの教育が効果的と言われています。日常の生活の中で、常に音楽が流れている事で、子ども達は自然に音楽を吸収していきます。幼い頃からの音楽教育により、自己表現と創造的な喜びが生まれ、運動やリズムの発達が促されるとともに声や言葉の教育にもなると言われています。加えて認知発達や抽象的思考が促され、社会的集団的スキルが身に付き、とも言われています。専門的で高度なレベルに達するには、幼児期からの毎日の、長い時間の練習が必要です。家族の方々は、子どもが音楽に興味を示しているか、音楽を楽しんでいる様子かどうかに関心を傾け、子どもと一緒に音楽を楽しみながら学んでいけると良いでしょう。

外国語の分野

外国語の習得には、学習を始める年齢よりも、外国語に触れる時間数の多い方が上達するといわれています。ご家族の海外勤務など、日常的に外国語に触れる様な環境の中で育つことにより、幼い子どもでもネイティブスピーカーの様に会話ができるようになります。幼児期は好奇心旺盛です。興味を持って、積極的に外国語の世界に入っていけるという意味では週一度のおけいこでも楽しく学べるでしょう。毎日数十分でも欠かさずご家族の方が英語で話しかけるなども早期教育の一つの方法といえます。

出典:

『早期教育を考える』無藤 隆／著 日本放送出版協会

『幼児教育と脳』澤口 俊之／著 文藝春秋

『0歳～6歳で「本当の知能」を伸ばす本』小宮山 博仁／著 日本文芸社



おすすめ展示図書



『最新脳科学で読み解く 0歳からの子育て』

サンドラ・アーモット、サム・ワン / 著

東洋経済新報社

請求番号：493.9 ア

賢い子どもに育てるにはどうしたらいいのでしょうか？最新の脳科学の成果に基づき、0歳から20歳までテーマごとに、脳の成長段階に合わせた働きかけの方法が紹介されています。



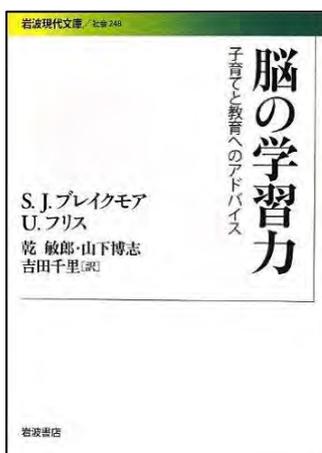
『頭のいい子が育つ 習い事』

東大家庭教師友の会 / 著 KADOKAWA

請求番号：379.9 ア

現役東大生 7000 人が登録している東大家庭教師友の会が、子どもの頃の経験談をもとに頭のいい子に育つ習い事を徹底研究し、まとめたものです。

「東大生を育てた家庭のルール10」も紹介されています。



『脳の学習力』

S.J. ブレイクモア、U. フリス / 著

乾 敏郎、山下 博志、吉田千里 / 訳

岩波書店

請求番号：491.3 ブ

早期教育は早ければ早いほどいいのでしょうか？この本では脳科学の研究に基づいた脳のメカニズムを解説し、効率的に脳を発達させる方法がアドバイスされています。

展示図書リスト

このリストのほかにも多数取り揃えております。ぜひ展示コーナーへお立ち寄りください。

書名	著者	出版社	分類	出版年
育脳ベビー完全ガイド		晋遊舎	599 イ	2015
12歳までの読み聞かせが子どもの「地頭」をつくる	ランディー由紀子	WAVE出版	379.9 ラ	2015
育脳 Baby-mo 子どもを輝かせる！0～3歳の可能性を引き出す7つのこと		主婦の友社	599 イ	2015
中学受験やっついけない小3までの親の習慣	西村 則康	青春出版社	379.9 ニ	2015
幼児教育への国際的視座	デイヴィッド・P・ワイカート	東信堂	376.1 ワ	2015
IQがみるみる伸びる0歳から6歳までの遊び方	祖川 泰治	廣済堂出版	379.9 ソ	2015
潜在能力を引き出す育脳メソッド		日経BP社	379.9 セ	2015
日本語の絶対語感	外山 滋比古	大和書房	379.9 ト	2015
5歳からでも間に合うお金をかけずにわが子をバイリンガルにする方法	平川 裕貴	彩図社	376.1 ヒ	2015
ザ・ギフトッド	大川 翔	扶桑社	371.5 オ	2014
子どもの「英語脳」の育て方	船津 洋	現代書林	379.9 フ	2014
育脳 Baby-mo 子どもを伸ばす！0～3才で絶対しておきたいこと5		主婦の友社	599 イ	2014
読み書き算数ができる子にするために親がやっついけない104のこと	立石 美津子	中経出版	379.9 タ	2013
わが子を知的バイリンガルに育てる方法	榎木 史子	合同フォレスト	379.9 マ	2012
脳の学習力	ブレイクモア, サラ・ジェイン	岩波書店	491.3 ブ	2012
赤ちゃんの知能を伸ばす脳育遊び 150	広木 克行/監修	メイツ出版	599 ア	2010



トランプで知能を伸ばす！



お金のかからない効果的な早期教育のひとつとして「トランプ遊び」があります。トランプ遊びの効果として以下の4点があげられます。

- ①社会性が身に付く トランプ遊びにはルールがあります。ルールを守らないとゲームが成り立ちせん。またルールの前ではお父さんもお母さんもみな平等であるという事を学びます。
- ②記憶力を高める トランプ遊びの代表的なゲーム「神経衰弱」は、記憶力を高めるのに役立ちます。
- ③推理力を高める 「七並べ」などは相手の持っている札を推理し、考えながらゲームをします。
- ④算数の勉強の準備運動

トランプにはハート・ダイヤ・スペード・クラブという4種類の札があり、集合の概念が身に付きます。数には量や順番を表すという数の意味を覚えます。



ぜひ家族でトランプ遊びをしましょう！



出典：『0歳～6歳で「本当の知能」を伸ばす本』小宮山 博仁/著 日本文芸社

早期教育について調べるには・・・

図書館の資料の調べ方、インターネットを活用した調べ方についてご紹介します。

1 【情報探索のキーワード】効率的な情報探索には、適切なキーワードが必要です。

早期教育	脳	発達心理学
幼児教育	外国語教育	学習心理学
子育て	才能	乳児

2 【基本的な情報源】辞書・事典類でテーマについて基本的な情報を入手しましょう。

資料情報	請求記号	配架場所
子育て大百科	599 コ	個性展示コーナー
はじめて出会う 育児の百科	599 ハ	5階

◎中野区立図書館では、女性の育児に関する統計や白書を所蔵しています。

資料情報	所蔵館
子ども・子育て白書 平成24年版 内閣府／編	中央・東中野
保育白書 15年版 全国保育団体連絡会／編	中央
子どものからだと心白書 15年版 子どものからだと心・連絡会議／編	鷺宮

3 【図書を探す】

● 館内所蔵を探す

◎ テーマの棚に言って探す

図書館の本は主題ごとに棚に並んでいるので、請求記号の最初の数字を参考にして同じ主題の本を探することができます。

分類	分野	分類	分野	分類	分野
379.9	家庭教育 しつけ	376	幼児・初等 中等教育	143	発達心理学

◎ 中野区立図書館利用者解放端末（OPAC）で探す。（※展示リスト参照）

資料のタイトル、著者名、出版社名などから、中野区立図書館所蔵の資料を検索できます。

中野区立図書館のHP <https://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/TOSHO/index.asp>

中野区立図書館 HP（携帯版） <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/i/>

● 東京都内公立図書館で所蔵されている図書を探す。

◎ 「東京都立図書館統合検索」 <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

● 国内で刊行されている図書を探す。

◎「国立国会図書館サーチ」 <http://www.ndl.go.jp/>

◎「Books.or.jp」 <http://www.books.or.jp/>

国内で発行された入手可能な書籍が検索できます。出版社のホームページやオンライン書店へのリンクもあります。

4 【オンラインデータベースで調べる】

中央図書館では、参考資料コーナーの利用者開放インターネット端末で、以下のデータベースをご利用いただけます。

データベース	収録期間と主な内容
官報情報検索サービス	1947年5月3日から当日までの官報記事の検索
日経テレコン	1975年からの日経4紙（経済・産業・金融・流通）の記事
聞蔵Ⅱビジュアル	1926年から1945年までの朝日新聞紙面イメージ 1945年から当日までの新聞の記事 ほか
MAGAZINE PLUS	1981年からの一般紙・総合誌の雑誌記事検索や学術論文
WHO PLUS	歴史上の人物から現代の人物まで約32万人のプロフィール
D1-Law.com	判例情報、法律の改廃記録、法律判例文献情報 など

5 【インターネットを利用する】

● 中野区の子育て関係の情報を知る

◎中野区子育てナビ <http://tokyo-nakano-city.mamafre.jp/>

◎暮らしのガイド「子ども・教育」

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/guide/003/index.html>

● 日本の教育関係の情報を知る

◎文部科学省ホームページ <http://www.mext.go.jp/>

◎国立教育政策研究所ホームページ <http://www.nier.go.jp/index.html>

● それぞれの分野の情報を探す

◎ベブスイミング情報館 ベブスイミング東京都

<http://bbsw.baseball-peri.com/tokyo.html>

◎講談社 こども教室 LITTLE ホームページ

<http://www.kodansha-pal.co.jp/little/study.html>

◎（財）英語教育協議会 えいごネット

<http://www.eigo-net.jp/>

◎国立国会図書館 国際子ども図書館

<http://www.kodomo.go.jp/index.html>

◎童話館 絵本のある子育て

<http://www.douwakan.co.jp/ehon-no-aruru-kosodate/>

◎公益社団法人 才能教育研究会

<http://www.suzukimethod.or.jp/>

◎桐朋学園大学音楽学部附属 子どものための音楽教室

http://tohomusic-child.jp/column/music_education.html

さあ！早期教育！

～おうちの方が心がけたいこと～

楽しく学べるよう、 発達に応じた早期教育を行いましょう。

学ぶことは楽しいんだ、未知のことが「わかる」とおもしろい、そのような内からの動機づけによって学ぶことを知った人間は、生涯ずっと学習し続けることになるでしょう。

過密なスケジュールにならないように、 遊ぶ時間を確保してあげましょう。

子ども同士の遊びの中では、相手の気持ちを理解するために想像力が養われます。また子ども同士のぶつかり合いを通して、問題を解決する手順や方略を身に付けます。子ども同士で遊ぶ時間は子どもの心身の発育には大切なのです。

親からの一方的な働きかけに ならないようにしましょう。

子どもには自分の力で道を切り開いていける力を身に付けて欲しいものです。大人の働きかけに対し、子どもがどのように考えるかを親子で楽しみながら、「理解する」喜びを与えてあげましょう。

お母さん自身の趣味や関心を 広げる機会をもちましょう。

お母さんが自分自身の興味を広げたり、いろいろな人と交流することで、お母さんがリラックスし、生き生きとしてきます。その結果、子どももリラックスして、伸び伸びと積極的に学ぶことができます。